

令和7年3月27日

武雄市企画政策課

第3期武雄市まち・ひと・しごと創生総合戦略(案)に係る
パブリックコメントの実施結果について

(1)対象事案の案件名 第3期武雄市まち・ひと・しごと創生総合戦略(案)

(2)意見の提出期間 令和7年1月20日(月)から令和7年2月21日(金)

(3)対象事案の決定時期 令和7年3月

(4)提出人数および意見数

・提出人数:16人

・意見数:24件

(5)意見の内訳

意見区分	意見数
A.計画案に対する意見(案を修正したもの)	1
B.計画案に対する意見(案を修正しないもの)	0
C.計画案と同趣旨の意見	10
D.今後の計画の推進において参考とするもの	9
E.その他(感想や質問等)	4

(6)提出された意見および意見に対する市の考え方
別紙のとおり

(7)対象事案を所管する部署及びその連絡先
企画部企画政策課

第3期武雄市まち・ひと・しごと創生総合戦略に係るパブリックコメント一覧

A.計画案に対する意見(案を修正したもの)	1
B.計画案に対する意見(案を修正しないもの)	0
C.計画案と同趣旨の意見	10
D.今後の計画の推進において参考とするもの	9
E.その他(感想や質問等)	4

No.	項目	意見	市の考え方	取扱区分
1	基本目標②稼ぐ 具体的施策(3)新たな活躍の場づくり	13ページ下具体的事業に障がい者や子育て世代の就活支援はあるのに高齢者はない物価が高くなっている中年金だけでは生活が苦しいが働こうとしても求人票に年齢不問と書いているのに年寄り採用してくれない。高齢者を採用する会社に補助を出すなどお願いしたい。	ご意見いただきましたとおり、高齢者の就活支援に関連する事業としては、基本目標①守る／具体的施策(4)高齢者・障がい者の充実した暮らしの支援に、「シルバー人材センター支援事業」をあげているところですが、基本目標②稼ぐ／具体的施策(3)新たな活躍の場づくりにも該当する事業のため、両方の具体的施策に記載する様、修正します。 高齢者を採用する会社への補助に関するご意見については、関係部署に共有し、今後の施策の参考とさせていただきます。	A
2	基本目標①守る 具体的施策(1)災害に強いまちづくり	とにかく治水対策を早くすすめて下さい 浸水がなくなりますように	ご意見いただきましたとおり、治水対策の推進は今後重要であると考え、「水と共に生きるまちをつくる治水対策事業」を基幹事業の1つとしております。 なお、具体的な対策等については、関係機関や地域と連携し事業を推進してまいります。	C
3	基本目標②稼ぐ 具体的施策(3)新たな活躍の場づくり	13ページの新たな活躍の場づくりで、地域で活躍する人材の育成とありますが、具体的事業で起業家支援がないのはなぜですか 若者がチャレンジする際の支援が必要だと思えます。	ご意見いただきましたとおり、若者がチャレンジする際の支援を行うことは、若者が地元で安心して働ける環境を実現する上で重要であると考えており、本戦略において、具体的施策「新たな活躍の場づくり」を重点プロジェクトに位置付けております。 本戦略に基づき、今後も商工団体等と連携し、若者がチャレンジする際の支援につなげていきたいと考えています。	C
4	基本目標③育む 具体的施策(3)夢を持って成長できる学びの場づくり	若い人がすごしやすいまち、とりくみをすすめて欲しい、大学もできるといいと思う。	ご意見いただきましたとおり、若者が過ごしやすいまちとなるよう、本戦略における新たに重視する視点として、「女性・若者目線」を掲げております。 本戦略に基づき、若者に選ばれるまちづくりを進めていきたいと考えております。 また、学生(若者人口)や地元就労者の増加による地域の活性化を目指し、引き続き、学校誘致を推進してまいります。	C
5	指標	令和11年度目標市民総所得10%アップは、若い人口が増えれば勝手にあがると思う。とにかく人口を増やしてほしい。特に武雄の中心だけでない田舎に若者を。	ご意見いただきましたとおり、若者に選ばれる取り組みは重要と考えており、本戦略において、本戦略における新たに重視する視点として、「女性・若者目線」を掲げております。 本戦略に基づき、中心部以外の地域への移住・定住対策についても、引き続き取り組んでまいります。	C
6	基本目標②稼ぐ 具体的施策(3)新たな活躍の場づくり	大学進学世代の流出を必然と考え、それと同等の大学卒業就職世代の帰還や流入があればよいのではないのでしょうか。そのための企業誘致活動や既存企業支援の拡充は今まで以上に大切になります。そして現在市内の企業に通勤している市外からの流入労働者の武雄市内への移住のための住環境整備もまだできることがあるはずです。	ご意見いただきましたとおり、企業誘致、企業支援を行うことは生産年齢人口の増加を図るために必要と考えており、本戦略でも、基本目標②稼ぐ～働きがいのあるまち～で重要な取り組みとして掲げております。 本戦略に基づき、引き続き、雇用の創出および住環境整備に取り組んでまいります。	C
7	基本目標⑤つなぐ 具体的施策(1)地域の特色を活かしたまちづくり	予算配分に関しても周辺地区の環境整備を考えると、配慮が必要と考えます。 中心部の事業が多くなるのはやむをえない事とは思いますが、周辺地区の一人当たりの区役等、地域整備にかかる負担は中心部住民のそれを大きく上回ります。 武雄市の抱える問題は日本全国で見られる一極集中の縮小版とも言えます。大学の誘致や観光振興などで解決できることに限りがあり、地に足をつけた武雄市振興が必要と考えますので下位戦略の計画、実施にあたって更なる意見交換の場を作ってくださいませようお願いします。	日頃より、地域の環境保全にご尽力いただきありがとうございます。 ご意見いただきましたとおり、区役等における地域の方々の負担は大きいものと認識しており、本戦略においても、具体的施策「地域の特色を活かしたまちづくり」を重点プロジェクトに位置付けております。 本戦略にもとづき、区役等については、今後、地域の方の負担が軽減されるような施策を検討します。また、地方創生を現するため、各種計画の策定にあたっては、広く市民意見を反映させていきたいと考えております。	C

第3期武雄市まち・ひと・しごと創生総合戦略に係るパブリックコメント一覧

A.計画案に対する意見(案を修正したもの)	1
B.計画案に対する意見(案を修正しないもの)	0
C.計画案と同趣旨の意見	10
D.今後の計画の推進において参考とするもの	9
E.その他(感想や質問等)	4

No.	項目	意見	市の考え方	取扱区分
8	基本目標⑤つなぐ 具体的施策(1)地域の特色を活かしたまちづくり	検討いただきたいこと ・市道等インフラ整備を含む周辺地区の環境整備	ご指摘のとおり、インフラ等の環境整備は重要な課題であると認識しており、本戦略において、具体的施策「暮らしやすい住環境の整備」を掲げております。本戦略に基づき、市道等のインフラ整備については、住みやすい住環境を確保するため、計画的に実施していきます。	C
9	基本目標①守る 具体的施策(1)災害に強いまちづくり	私の実家は私が生まれてから3度浸水被害にあいました。次があるかもしれないと考えると雨の度に心配でなりません。100パーセントはムリでも99パーセントは大丈夫といえるくらいの対策を期待します。	ご意見いただきましたとおり、治水対策の推進は今後重要であると考え、「水と共に生きるまちをつくる治水対策事業」を基幹事業の1つとしております。なお、具体的な対策等については、関係機関や地域と連携し事業を推進してまいります。	C
10	政策の柱	政策の柱にかかげてある、あるものをいかにす視点はすごく重要で、そこを目指すべきだと同感である。	ご意見ありがとうございます。政策の柱に基づき、各種施策を推進してまいります。	C
11	基本目標⑤つなぐ 具体的施策(2)持続可能な公共交通の整備	運転する能力がない高齢者の事故を減らすため、高齢者が問題なく生活できるようなまちづくりが必要であると思う。政策にある持続可能な公共交通の整備を進めてほしい。	ご意見ありがとうございます。具体的施策に基づき、各種施策を推進してまいります。	C
12	基本目標③育む 具体的施策(1)安心できる子育て環境の整備	子育て総合支援センターが北方にあるが、あまり身近に感じられない。P21に西川登町について「かんころの家を中心にあらゆる世代が気軽に集まり交流できる環境づくり」とあるなら、かんころの家に子育て支援の場を作ったらどうか。子育ての中で悩みがあってもどこに相談するか分からず不安だった経験がある。地域の中にそういう場があったら安心。「ここに来たら話を聞いてもらえて、必要な場所へ継いでもらえる」そういう場です。	ご意見いただきました、子育て総合支援センターに関する事業ですが、「おひさまひろば」では、子育ての悩み相談、子育て情報の収集・提供、子育てサークルの活動支援等、子育てに関するあらゆる支援を行い、子育てしやすい環境づくりを進めており、「地域ひろば」では、各町公民館等にて、子育て中の親が相談、交流できる機会を提供するなど、子育ての不安感や孤独感を解消する取り組みを行っております。また、必要なサポートを受けることができるよう、状況に応じて、関係部署と情報共有を行っているところです。なお、かんころの家に関するご意見につきましては、関係部署に共有し、今後の施策の参考とさせていただきます。	D
13	全体	資料(人口ビジョン)では転入転出が社会増となっており、在留外国人も増加傾向で、課題は高校卒業時の進学による転出としていますが、これには武雄市内各町間の人口減少格差を示す資料が存在していません。西川登町は10年で30%以上の人口減少が見られますが、どれくらいの方が市外へ流出しているのでしょうか。また中心部への転出がどれくらいあったのでしょうか。大学進学世代流出以外に周辺地区の子育て世代が、武雄町をはじめとする中心部に移住しているのも要因のひとつではないかと感じています。 武雄市の掲げる「あるものを活かして…」は素晴らしいスローガンですが、中心部と周辺地区では「あるもの」に違いがあります。「人口流失減少は避けられないもの」と考えた場合、各町の人口減少に大きな偏りがあることも大きな問題と考えるべきでしょう。	ご意見いただきました、人口ビジョンについては、今回から新たに各町ごとに、性別、年齢区分別の人口の推移および推計をお示ししているところです。ご意見いただきました各町間の人口移動等も含め、様々な情報を参考に、今後の政策に活かしていきたいと考えております。 また、引き続き、人口の二極化を食い止めるため、各地域が持つ文化財、特産品や自然環境など、特色ある地域資源を最大限に活用することで、その地域ならではの魅力を引き出し、観光資源としての活用や更なる移住定住の促進につなげたいと考えております。	D
14	基本目標⑤つなぐ 具体的施策(1)地域の特色を活かしたまちづくり	若木町には以前「太陽光村」という構想がありました。計画がなくなった経緯はわかりませんが、予定地はいまだに農地として圃場整備もされないまま将来の計画の話し合いもなされていません。当時とは取り巻く環境も変化していますので市の基本計画、下位計画にぜひ組み入れて欲しいと考えています。	ご意見いただきました、土地利用の計画につきましては、下位計画である都市計画マスタープラン等で方向性を示しているところです。いただいたご意見につきましては、関係部署に共有し、今後の施策の参考とさせていただきます。	D

第3期武雄市まち・ひと・しごと創生総合戦略に係るパブリックコメント一覧

A.計画案に対する意見(案を修正したもの)	1
B.計画案に対する意見(案を修正しないもの)	0
C.計画案と同趣旨の意見	10
D.今後の計画の推進において参考とするもの	9
E.その他(感想や質問等)	4

No.	項目	意見	市の考え方	取扱区分
15	基本目標⑤つなぐ 具体的施策(1)地域の特色を活かしたまちづくり	検討いただきたいこと 周辺地区の賑わいを産む仕組みづくり ・文化施設や公共施設の分散と地域の拠点づくり ・各町の状況に合わせた優遇措置等の移住・定住推進策	ご意見いただきました、施設や地域拠点の整備、各町の現状に即した移住・定住の促進については、まちづくりにおいて、重要な施策であると認識しております。ご意見につきましては、関係部署に共有し、今後の施策の参考とさせていただきます。	D
16	全体	全体を読んでもみましたが、正直市民が理解するには難しいと感じました。せめて中学生が読んでも理解できるようなものであれば、市が目指す方向性などが市民へ伝わりやすいのではないかと思います。 例えば、総合的な学習などの時間で市内の中学生に子どもたちの言葉でこの戦略をまとめてもらうのはいかがでしょうか。 今後の市政に期待しています。	ご意見いただきました、分かりやすさについては、非常に重要であると認識しております。ご提案の学校での学習につきましては、今後の参考とさせていただきます。	D
17	基本目標③育む 具体的施策(1)安心できる子育て環境の整備	安心して子育てができるような支援とありますが、ぜひ保育士等の職に従事される方の待遇をよくしてください。	ご意見いただきました、保育士等の方の処遇につきましては、関係部署に共有し、今後の施策の参考とさせていただきます。	D
18	基本目標③育む 具体的施策(1)安心できる子育て環境の整備	夜泣きなどで寝不足な時、心身の休息が必要です 出産直後などは比較的家族などを頼りやすいが夜泣きのピークの時期、8~10か月ごろになると頼りにくい気持ちがあります。 この時期を乗り越えれば、眠れるようになると気合いで頑張ってしまうが…気軽に頼れる支援などがあればと思うことがあります。	ご意見いただきました、子育てへの支援については重要な施策であると考えており、本戦略においても、具体的施策「安心できる子育て環境の整備」を掲げております。 現在、母子に関するサポートは、4か月・10か月児健診等を実施し、保護者の育児不安の緩和や乳幼児の心身の異常の早期発見に努めているところです。 頂きましたご意見を踏まえ、本戦略に基づき、安心できる子育て環境づくりを進めてまいります。	D
19	基本目標③育む 具体的施策(2)誰一人取り残さない教育の推進	年少人口率を11年度までに13.30%までに増やす目標とのことだが、増えるとしても市街地に集中するのではないかと 私が住む川登町は年々子供が少なくなっているようです。現在私には0歳児と4歳児がおりますが、小学校にあがる時に同級生が何人いるのかが不安です。友達や仲間は多い方がいいと常々思っており、習い事などはさせています。 小学校を合併していただくか、小学校を選べるようにはならないかなど考えてまいります。	ご意見いただきましたとおり、人口減少への対応は重要な課題と認識しており、本戦略においても、具体的施策「地域の特色を活かしたまちづくり」を重点プロジェクトに位置付けております。 人口の二極化を食い止め、どの地域に住んでいても安心して暮らせるよう、本戦略に基づき、今後も地域の皆様の現状、ニーズを把握しながら、地域の実情に応じた支援に取り組んでまいります。 小学校の今後に関するご意見につきましては、関係部署に共有し、今後の施策の参考とさせていただきます。	D
20	基本目標④彩る 具体的施策(1)西九州のハブ都市の推進	観光産業の分野で武雄温泉物産館の整備運営が市との連携によってできると良いと思います。他の地域の道の駅的な場所は、立ち寄りたくなる魅力的な所が多いと感じます。	ご意見いただきました、武雄温泉物産館については、建物の所有は武雄市観光協会、運営は民間となっており、各種イベント等において、連携をとりながら観光産業の発展に努めているところです。今後も、観光協会への支援や、地元事業者への支援を通じて、市内事業者の魅力向上につながる取り組みを推進してまいります。	D

第3期武雄市まち・ひと・しごと創生総合戦略に係るパブリックコメント一覧

A.計画案に対する意見(案を修正したもの)	1
B.計画案に対する意見(案を修正しないもの)	0
C.計画案と同趣旨の意見	10
D.今後の計画の推進において参考とするもの	9
E.その他(感想や質問等)	4

No.	項目	意見	市の考え方	取扱区分
21	全体	すばらしい計画だが、これを地域へ落としこむ手だては考えてあるのでしょうか。P12にある様に地域で稼ぎたい、今生活している場所にずっと住みたい、住み続けられる様にしたいと考えている人、問題意識を持っている人は意外に多い。この思いを取りこぼさない様に地域の中に具体的事業を落とし込む活動をしていく必要があるのでは。自分たちにやれることがあるならやりたい、もっと知りたいと思います。	ご意見ありがとうございます。 総合戦略で今後5年間の市政の方向性を示していますが、事業の詳細については、総合戦略に紐づく下位の計画などでお示し、具現化していきたいと考えております。 第3期武雄市まち・ひと・しごと創生総合戦略の策定にあたっては、市内各所で開催した市民ワークショップ(たけおのまちづくり未来会議)や、武雄に関連のある団体等へのヒアリングを実施し、皆様のご意見を反映しております。 これからも様々な市民の方、団体様にまちづくりに参画いただく場づくりを行いたいと考えております。	E
22	基本目標③育む 具体的施策(3)夢を持って成長できる学びの場づくり	計画の中に大学のことが全然入ってなくて残念でした。大学ができると楽しくなりそうだと期待してましたが…できるのかな	ご意見ありがとうございます。 大学誘致については、「学校誘致事業」として、基本目標③育む/具体的施策(3)夢を持って成長できる学びの場づくり に記載しています。 学生(若者人口)や地元就職の増加による地域の活性化を目指し、引き続き、学校誘致を推進してまいります。	E
23	基本目標③育む 具体的施策(3)夢を持って成長できる学びの場づくり	大学が開学したら、どんな町になるのか楽しみにしています。戦略では、大学に関する具体的な内容の記載はありませんが、地域と行政がまちに変化をもたらす取り組みとなることを期待しています。	ご意見ありがとうございます。 大学誘致については、「学校誘致事業」として、基本目標③育む/具体的施策(3)夢を持って成長できる学びの場づくり に記載しています。 学生(若者人口)や地元就職の増加による地域の活性化を目指し、引き続き、学校誘致を推進してまいります。	E
24	基本目標⑤つなぐ 具体的施策(1)地域の特色を活かしたまちづくり	20ページの各町の今後の方向性では、自分の住む地域の特色を考えるきっかけになった。	ご意見ありがとうございます。 各地域の特色を活かし魅力向上につながるよう、市の各種施策に取り組んでまいります。	E